



# 広報

もりよし

発行・編集 森吉町役場企画開発課 / 印刷 米内沢中央印刷所

No. 331



夏山の幕明け

## 新緑と残雪の中で山開き

昭和60年

6  
月号

5月12日、夏山シーズンの幕明けを告ぐ森吉山(1,454m)の山開きが、前岳の森吉神社で行われ、登山者の安全を祈った。

靈峰「森吉山」に県内各地から老若男女の登山愛好者が集まり、残雪と新緑とさわやかな風に迎えられた、絶好の登山日和に大自然を満喫、連なる山々を眺めて深呼吸をされていた。

町の人口

昭和60年5月末現在  
住民登録人口

男 4,856 (-2)

女 5,316 (-9)

計 10,172 (-11)

世帯数 2,787 (0)



▶消防功労の片岡さん



▶行政相談功労の竹田さん

天皇誕生日の四月二十九日付で政府は春の叙勲受章者を発表した。当町では、竹田熊三郎さん（新丁＝76歳）と片岡広治さん（浦田＝59歳）の二人が受章されました。

竹田さんは行政相談功労で勲六等単光旭日章。昭和四十年から現在まで二十年間にわたって住民の行政に関する苦情を受付け、三千件をこえる相談に献身的に取り組んでいるほか、秋田行政相談委員協議会の副会長として、委員団体の育成、発展に尽力している。これまことに行政監察局長賞、東北管区行政監察局長賞、四十七年十月行政管理庁長官表彰を受け、五十四年には、持ち前の責任感と実行力で消防活動をリード、団員の厚い信頼を得て副團長に推挙され、三十八年間にわたり消防人として活躍された。

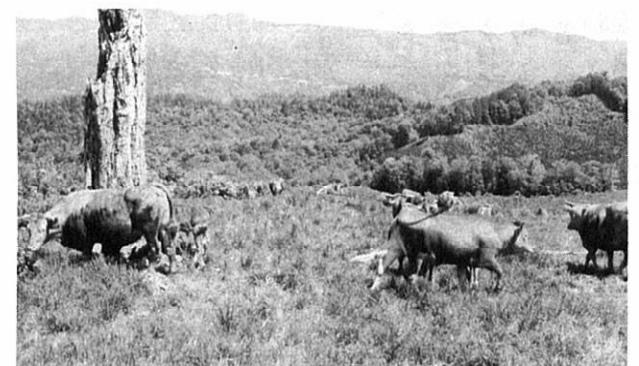
日本消防協会功労章、県知事より有功章、消防庁長官の永年勤続功労章を受けています。



▶放牧前に安全祈願



▶予防注射を受け放牧を持つ



▶牧草の中でのんびり



▶検査後一斉に放牧される



## 成田為三先生 生誕の地

# ホームに名曲「浜辺の歌」流れる

# 米内沢駅で始奏式

5月29日 乗客も心の中でハミング



▶ホームで「浜辺の歌」の大合唱

式には、成田為三先生の長兄の二男である成田家助さん（六十六歳）ら関係者百五十人が参加。顕彰会長の近藤町長が「成田為三生誕の地」と書かれた案内板の除幕を行ったあと、後藤駅長に名曲「浜辺の歌」の演奏テープ三巻が贈られ、午後一時三十五分の下り列車の到着とともに、みんなが見守る中、オーケストラ演奏の「浜辺の歌」が初めてホームに流されました。後藤惣一郎顕彰会副会長、近藤町長らが「数ある星のうち、浜辺の歌の歌こそ金星のように輝いてい

たえ「成田為三顕彰会」も設立、このあと、米内沢小学校一年生の児童やコールもりよしのママさんコーラスを中心に、全員で「浜辺の歌」を大合唱。二本の線路がどこまでも続くように、静かなホームに長く響きわたっていた。

町では今まで、先生の業績をたたえ、「成田為三顕彰会」も設立、このほど、国立音楽大や未亡人立つたサービス活動」を重点実施

東北電力の「昭和六十年度春のサービス旬間」実施にあたって、役場幹部との懇談会が五月二十三日役場会議室で行われました。佐藤庶務課長、後藤當業課長、尾

竜渓寺での墓前演奏や追悼音楽会などを毎年開催しているが、先生を偲ぶものは、旧米内沢小学校跡地に楽譜が刻まれている顕彰碑、墓誌碑があるだけである。

町では今まで、先生の業績をたたえ、「成田為三顕彰会」も設立、このほど、国立音楽大や未亡人立つたサービス活動」を重点実施

東北電力の「昭和六十年度春のサービス旬間」実施にあたって、役場幹部との懇談会が五月二十三日役場会議室で行われました。佐藤庶務課長、後藤當業課長、尾

電柱移転など町からの要望事項を会議には大館営業所の野地所長、日役場会議室で行われました。佐藤庶務課長、後藤當業課長、尾

# 東北電力 電気は明るい

## わかるが・無知 懇談会

うに努力したいとのべられました。

このあと、長野岱農工団地入口に日栄支線8号、県道根森田地区の森吉線5号、田の中にある電柱移転など町からの要望事項を

中心に進められ、活気ある意見が交換されました。

サービス活動内容は、高齢者、身障者を対象にした電気教室、一人暮らし老人宅や福祉施設に対する設備の点検・整備、防犯灯の寄贈などです。また森吉出張所管内では、民間業者ら五十名が集まり「森吉電友会」を結成、外灯の清掃、自動点滅器の点検・取替など

にしています。



▶あいさつに立つ野地所長



▶電磁調理器をプレゼント



ご存じですか  
土地取引(売買等)のまえに…  
国土利用計画法による土地取引の届出制

## 届出が 必要な面積

届出なければならない土地取引は、次の面積以上の土地の売買、交換、代物弁済（たとえば、金銭の代わりに土地で支払いをする場合）、地上権の設定、賃貸借契約を行う場合です。

### (1) 都市計画区域

五千平方メートル

（約千五百坪・五反歩）

### (2) 都市計画区域以外の区域

一万平方メートル

（約三千坪・一町歩）

また、次の場合にも届出が必要です。

森吉町の面積は三四一・八七平方公里。この土地は生活と生産をする基盤として、私たちが祖先から受け継ぎ、子から孫へと伝えてゆかなければならぬ大切な資源です。

昭和四十七、八年ごろに問題となつた土地の買い占めや地価の暴騰などで、国土の利用を混乱おこし入れるといった事態が起きたことから、四十九年に国土利用計画が生まれ、一定面積以上の土

方キロ。この土地は生活と生産をする基盤ですが、このたび米内沢小四年部では、自分たちの家庭から出るごみが、どう処理されているのか、勉強会を実施してくださいました。

五十九人の児童たちは、あらかじめ町に知りたい項目を持ちよって、役場で資料を作つてもらい、学校で学習したあと、実際に処理している焼却場へ出かけて、担当者が出るごみを、どう処理されていました。

の係員に次から次と質問を出して、係の職員も大あわてでした。  
【係員の話】  
こうして小さい時から勉強してもらひ、勉強したことを是非家庭でも話し合つていただき、ごみ処理のための経費が、少しでも減らせるように、協力してほしいものだと期待しています。

## 米小でごみ処理の勉強会 みんなが協力を きれいな町に ごみ収集車を更新

河川は河川愛護月間

河川は私たちの生活と密接つながりがあり、水道用水、工業用水

一般家庭のごみ収集車三台のうち、一号車を更新しました。このたび広域組合に依頼して、国民年金積立金の還元融資を受け、写真のように新しい車を入れ、収集に当たっています。

収集車は、生ごみなどの汚水により、荷台のいたみが激しくなりますので、よく水切りして出しています。

また不燃ごみの混入が相変わらず多くて、困ります。もう少し注意して、混入しないよう協力してくれます。

河川敷へのごみの投棄はやめほしいものです。

河川敷へのごみの投棄はやめましょう

堤防を大切にしましょう

堤防、護岸、水門等は、私たちを洪水等の災害から守ってくれる大切な施設です。河川を利用するときは施設に損傷を与えないよう

堤防を大切にしましょう

河川の美しい自然環境を常に保つため、ごみ、空き缶、建築廃材等の投棄はしないようにしましょう。

河川敷へのごみの投棄はやめほしいものです。

河川敷へのごみの投棄はやめましょう

堤防を大切にしましょう

堤防、護岸、水門等は、私たちを洪水等の災害から守ってくれる大切な施設です。河川を利用するときは施設に損傷を与えないよう

堤防を大切にしましょう

河川敷へのごみの投棄はやめほしいものです。

河川敷へのごみの投棄はやめ

